

あとがき

福生市は一九七〇年代に入り、いつそう「勤労化」がすすみ、開発や文化財保護をめぐるさまざまな問題が生れてきます。特に風俗、習慣、信仰あるいは農具や民具などさまざまな民俗資料が著しく変貌してきています。

こうした状況の中で、現実に伝承されている伝統的民俗文化の実態を正確に把握し、記録していくことが重要な時期にきています。

福生市では、このたび、三年計画で、文化財給分調査の一環として、市内の民俗調査に始めて着手した。総合調査の基本方針として、「地域の人々の手で調査を」という方針に従い、希望する市民と市内小中学校の先生方により調査班を編成した人数的にも、十分な調査員を確保できず、調査はきわめて困難をきわめた。そのため、本年度は、年中行事に調査をしぼり、八月から十二月まで、ほぼ毎日の調査、しかも忙しい勤務の間の調査活動は大変なことだったとおもいます。

それにしても、唯一の専門家として活躍してくれた、木村龍生さん（国学院大学の学生）には調査のいろはから、お手をわずらわしたことをおわびすると同時に、お礼申しあげます。さらに、この調査の代表として、事務局の不手際にもかかわらず協力くださった、川鍋幸三郎先生（福生第一中）はじめ、調査員の方々や、専門的立場から、ご助言、ご指導をくださった三田先生（学芸大学助教授）や、長時間にわたって調査に協力くださった多くの市民の方々に厚くお礼申しあげます。今後、このささやかな資料が多く、市民の方々に活用されることを期待します。

民俗調査班構成

指導者 三 田 登 学芸大学助教授

調査員 川 鍋 幸三郎 文化財専門委員 木 村 龍 生（国学院大学） 馬 場 英 雄（福生市立第一小学校教諭）

加 藤 有 孝（教育委員会） 加 藤 策夫出（福生市立第二小学校教諭） 島 田 宇 一 文化財専門委員

福生市文化財総合調査団長 森 田 潤 三 文化財専門委員

副団長 石 川 弥 八郎 文化財専門委員

福生市文化財報告集

福生市文化財総合調査報告

福生の民俗Ⅱ年中行事

昭和五十年三月二十五日

昭和五十年三月三十一日

編集 福生市教育委員会
発行

印刷 昭和印刷株式会社

